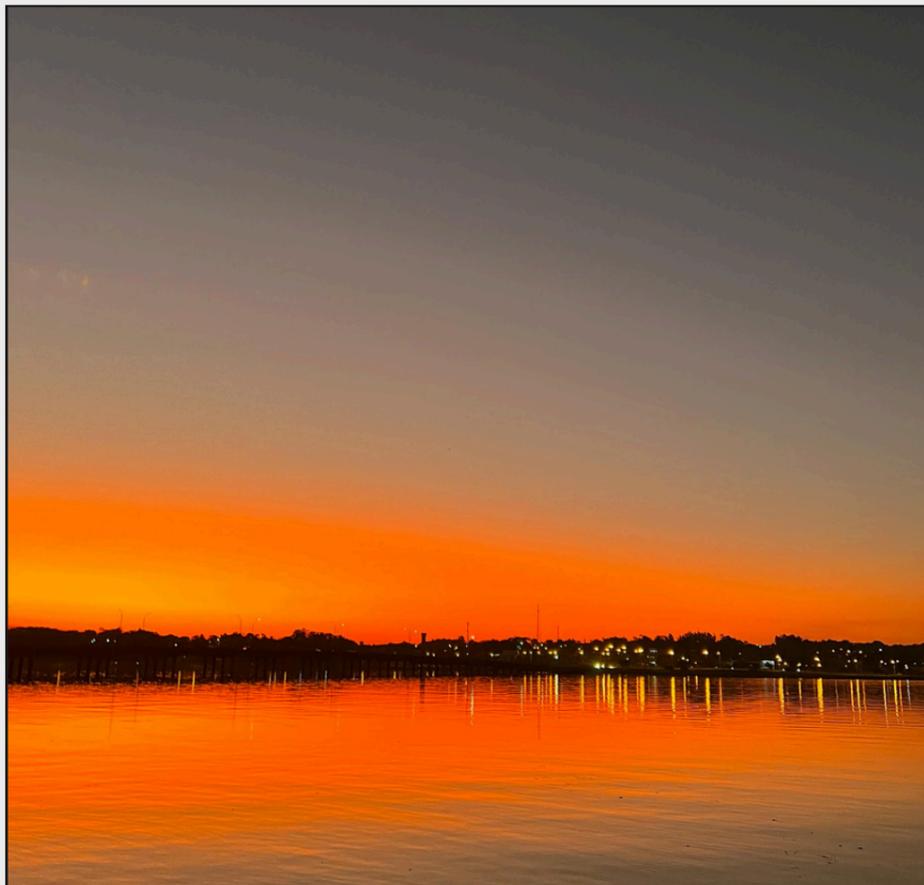


# エンカルナシオン市



Encarnación



エンカルナシオンってどんな場所？

## 『戦後移住の玄関』

エンカルナシオン市は、アルゼンチンとの国境にあるパラグアイ第三の都市です。川の向かい側にはアルゼンチンのポサーダス市が眺められます。エンカルナシオンは「戦後移住の玄関」とも言われ、ここからチャベスやピラポ、ラパスへの入植が始まりました。その後これらの移住地からエンカルナシオンやアスンシオンの都市部へ転住し、野菜作り、商業、食堂等を営んだ日系人が多くいます。

## 📣 パラグアイ日系アイデンティティセンター



『茶室』

着物の着付けと茶道体験ができます。

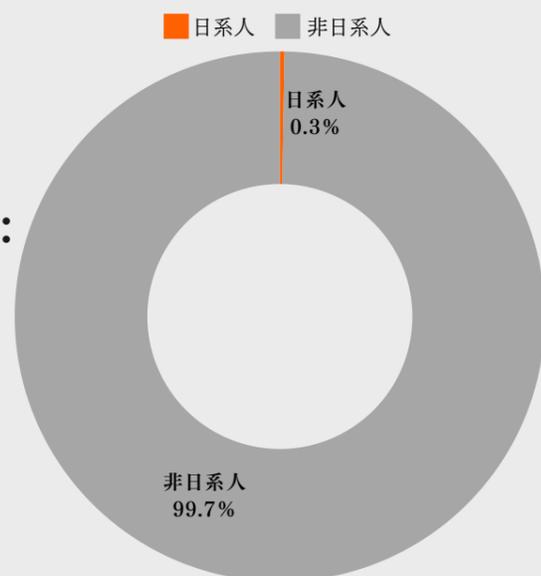
『日本の倫理的価値観』

日本のアイデンティティを表したパネルです。

パラグアイ日系アイデンティティセンターは、写真パネルや移住初期の物品が展示されています。また歴史の展示に留まらず、パラグアイ日系人のアイデンティティを理解できる施設であり、誇りをもって日系文化を広めていく役割も担っています。移住地での太鼓やよさこい文化の継承の様子や、日系団体の活動に関するビデオの放映も行っています。ビデオは英語字幕付きのものあり、施設にはパラグアイ国外からの来訪もあります。

## 人口

エンカルナシオン市：  
約14万人  
日系人：約400人



※2024年10月時点

## エンカルナシオン日本人会



エンカルナシオン日本人会は1961年に設立され、日本人会の傘下には、日本語学校、あけぼの会（70歳以上の親睦会）、婦人部、青年部の団体があります。年間通じて教育関連行事、敬老会、成人式、運動会、ゲートボール、バレーボール、サッカー大会等さまざまな行事を企画・実施しています。

社団法人 エンカルナシオン日本人会

[所在地] Avenida Irrazábal esq/ Próceres de Mayo, Barrio Buena Vista-Itapúa

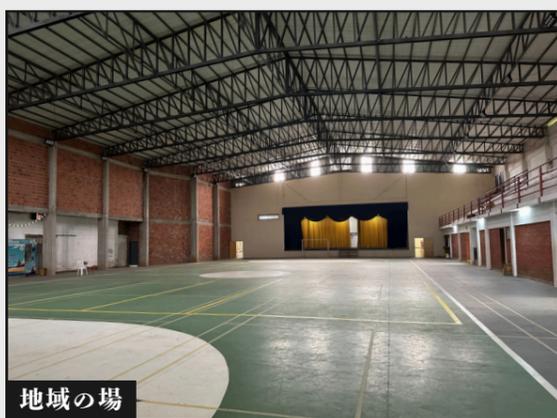
[電話番号] (+595) 985-729970

[E-mail] encarnacionnikkai@hotmail.co.jp



会員専用施設

日本人会の会員専用施設として、プールとサウナが併設されています。



地域の場

体育館はスポーツの場として地域住民に使用されています。



キンチョ (Quincho)

パラグアイの文化である「アサード」を準備する施設があります。パラグアイではこの施設を「キンチョ」と呼びます。肉の塊を炭火でじっくり焼きます。

## 📣 日本人戦後移住記念碑



2007年9月、イタプア県の日本人会（チャベス、ラパス、ピラポ、エンカルナシオン）は「パラグアイ日本人戦後移住記念碑建設委員会」を設立し、エンカルナシオン日本人会敷地に戦後移住到着の第一歩を刻した記念碑と枯山水日本庭園を建設しました。これらは開拓の苦楽を共にした多くの朋友を偲ぶと共に、戦後移住者がエンカルナシオンを起点に、各移住地へ入植した歴史を後世に残すことが、日本人移住者の使命と考え建設に至りました。

## カラオケ

日本人会の敷地内にはカラオケができる部屋もあります。日系移住地ではカラオケがとても愛されています。



## エンカルナシオン日本語学校



幼稚園部、小学部、中学部が同じ敷地内にある日本語学校です。児童生徒数は全学年合わせて約40名です。非日系人も受け入れており、日系人と非日系人が同じクラスで日本語の授業を受けています。台湾人の生徒も受け入れていません。学校内には田んぼが設置され、先日は田植えの授業も行いました。順調にいけば20キログラムの収穫予定です。



エンカルナシオン日本語学校はJICA海外協力隊の活動場所になっています。五嶋友香隊員は、生徒が物語を創作しそれを発表する授業を行っていました。全員がオリジナルの物語を作り、日本語で発表できていました。授業の最後には、終わりの号令があり、また黒板消しの担当も日替わりで決まっているなど、日本の規律が教えられていました。

## 📢 パラグアイの学校でもドッジボール



日本語学校の生徒は、午前中はパラグアイの地元の学校に通い、午後に日本語学校に通います。日本語学校にはパラグアイの学校の流行が持ち込まれます。

日本語学校の休み時間には、ドッジボールが盛り上がっていました。日本でもパラグアイでも休み時間にはドッジボールが好まれるようです。

エンカルナシオンの日系社会についてさらに詳しく知りたい方は要チェック！！



<https://identidadnikkei.org.py/>